

令和5年度 教育課程特例校実施状況(自己評価・学校関係者評価)

聖隷クリストファー中学校グローバルスクールコース(GSC)は、日々変化を遂げる国際社会の中で活躍するために必要な高い英語力と能力、知識を備えた人材を育成するため、社会、数学、理科、美術、音楽、保健体育等の各教科を多国籍の教員が英語で授業を行う英語イマージョン教育の教育課程特例校としての認定を受けています。教育課程特例校は、特別の教育課程の実施状況に対する自己評価と学校関係者による評価を毎年公表することになっています。

■教育課程特例校(英語イマージョン教育)に関わる取り組みについての実施状況

※評価の指標・・・A(十分に成果があった)、B(成果があった)、C(少し成果があった)、D(成果がなかった、取り組みできなかった)

取組目標	成果目標	自己評価		学校関係者評価	
		評価	達成状況	評価	意見
特徴ある教育の充実を図る。	「GSC の英語イマージョンにより英語力が向上した」と答える生徒 80%以上。	B	86.9%の結果となった。英語力に関する向上実感は概ね認められるものの、特にアウトプットのスキルはさらなる向上が期待される。スピーキング力の向上を目的とした活動をさらに増やしていきたい。	B	評価は妥当と思える。
	「学習スキルを意識して学習に取り組んでいる」と答える生徒 80%以上。	C	78.2%の結果となった。英語を用いた学習スキルの習得を本コース独自の取り組みとして確立し、各生徒がスキルを伸ばしていけるよう継続的に指導していきたい。	C	評価は妥当と思える。